地域共生フォーラム　in八王子

皆さん、ご存知ですか？
「我が事・丸ごと」の意義

高齢になっても安心して暮らせる地域包括ケア
を進めるために、厚生労働省が提唱している言葉です。

近所の○○さん。
最近姿を見ていないな

ご近所づきあいって、
もう昔のことなの？

高齢になり、一人で暮らし
ていくことが不安・・・

子どもたちが元気に遊ぶ
声を聞きたい！

人とのつながりって
やっぱり大切なんじゃないかな。

住み慣れたこのまち「八王子」で、高齢になっても元気にいきいきと楽しく暮らしていきたい！！

みんながつながる・集まる場をつくるために・・・

～今、私（たち）ができること～

市民、各専門家、行政ほか
全分野で「丸ごと」進める

第2部「井戸端会議」で、みんなで一緒に考えませんか？

平成30年2月24日（土）午後2時～5時30分

1:15開場　1:45余興

会場：労政会館ホール　明神町3-5-1　電話　645－7451
「京王八王子駅」徒歩5分・JR「八王子駅」徒歩8分

【第1部】基調講演

演題：「我が事・丸ごと」の意義

講師：厚生労働省統括官付　政策企画官　野崎 伸一氏

【第2部】井戸端会議　～まずは、つながる！　楽しくつながる！～

【第3部】親睦会

申込み方法　**原則事前申し込み（先着150名）**　参加費　500円

氏名・年代・町名・所属団体名・メールまたは電話/ＦＡＸをご記入の上、下記まで。
吉永：メール：yoshi86k@ybb.ne.jp 又は FAX：626-3783　又は090-4622-6450

<主催>　子ども応援アンアンネット（すべての世代の　一人ひとりが　イキイキと）
<後援>　八王子市　・　八王子市社会福祉協議会

地域共生フォーラム in 八王子（地域福祉編）

「我が事・丸ごと」の意義

2040年を見据えて地域包括ケアの深化を急ごう

H30年 **2月24日（土）14時～17時半** 13:15開場 13:45余興

労政会館ホール　JR駅と京八駅の間保健所を曲がる。歩５分。

●市長あいさつ

●講演：**厚生労働省統括官付　政策企画官　野崎伸一氏**

演題：「我が事・丸ごと」地域共生社会の意義

●ワールドカフェ：150人で。一人ひとりが主役になれる楽しい対話

テーマ：地域福祉、市民（企業）＋専門家＋行政でどう協働しあうか？

●懇親会：18:30迄。まずはつながる！　飲食しながらお互いを知り合いましょう。

開催趣旨

今、八王子は福祉に関して、地域包括ケアシステムを中心に、行政、社協、医療・介護などの専門職、市民団体などが、並々ならぬ努力で、活動してくれています。

日本の将来は、人工知能の活躍、生活の利便化など期待に溢れています。が、一方、スーパー老いるショック時代を迎えて、団塊ジュニアが65歳になる2042年には、約1億人中高齢者は38%に及び、孤立者問題など社会不安も多くなります。なんと、今年生まれた人はまだ26歳、ひとごとではない、まさに「我が事」なのです。

最近、厚労省は、地域包括ケアシステムを更に深化すべく、地域共生社会創りを提案しました。特に「市民（企業）」と「専門家」と「行政」などの異種の内外の深い協働、即ち「丸ごと」への早期挑戦が必須であることを強調しています。

当フォーラムが、八王子100周年を機に、様々な団体や市民が協働する風土を興すひとつの機会になれば幸いです。そのパワーが沸々と内在している中核市ですから。

原則**事前申込**：氏名、年代、メール又はFAX又は電話、町名、団体名。

yoshi86k@ybb.ne.jp　FAX626-3783　090-4622-6450　吉永鴻一宛

先着150名まで　参加費500円　各団体のPR用チラシ置き場設置

主催：子ども応援アンアンネット（すべての世代の　一人ひとりが　イキイキと）

後援：八王子市、八王子市社会福祉協議会

地域共生フォーラム in 八王子　裏面

①　地域包括ケアシステム推進中の各団体の皆さま有難うございます！

高齢者が、
とか、
子どもが、
とかの、
限定でなく
誰もが、

●厚労省の提案は地域包括ケアシステムを深化させる提案です

ビジョン「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現　＝協働の推進

目　的　誰もが、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで、続けることが出来るまちづくり

対　象　福祉だけでなく全分野・全世代を対象

②　少子高齢化に歯止めがかかるわけがない事実

2025 年：団塊世代が高齢者。認知症 700 万人

2042 年：団塊ジュニアが。超々高齢社会

2050 年：世界的食料争奪

今年生まれた子はまだ 32 歳

福祉。もう、ひと事じゃない。我が事でしょ

③　2.24 の井戸端会議（ワールドカフェ）で対話

今、私たちに具体的に何を出来るか

- 各町会に子ども食堂をつくろう
- 子どもにも認知症の知識を
- 孤立者を発見して見守る具体的方法

当日は、日頃、地域福祉に取り組んでおられる方々のご意見をぜひ教えていただきたいので、行政、医師会、社会福祉協議会、地域包括ケアセンター（高齢者安心センター）、町会自治会連合会、民生委員児童委員協議会、市民活動協議会、自治研究センター、各種市民団体、そのほかの団体にも案内をさせていただいております。もちろん一般市民や子どもたちの生活上の生のお声も極めて重要、大歓迎です。楽しく進めます。お気軽にご参加ください。